



重要取組課題

## コーポレート・ガバナンス

持続的な成長と企業価値の向上の実現に向けて  
実効性の高いガバナンス体制の整備  
および充実に継続的に取り組めます。

### コーポレート・ガバナンスの 基本的な考え方

森永乳業グループは、コーポレートミッション（→P4）に基づく事業活動を通じて社会に貢献し、持続的な成長と企業価値の向上を実現するため、次の基本的な考え方に沿って実効性の高いコーポレート・ガバナンス体制の整備および充実に取り組んでいます。

1. 株主の権利を尊重し、平等性を確保する。
2. 株主、お客さま、取引先、地域社会、従業員等、様々なステークホルダーの立場や権利等を尊重し、適切な関係の構築を図る。
3. 会社情報を適切に開示し、透明性を確保する。
4. コーポレート・ガバナンス体制を構成する各機関が有機的に連携する仕組みを構築するとともに、取締役会の業務執行に対する監督機能の実効性を確保する。
5. 持続的な成長と企業価値の向上を目指し、その実現と中長期的な利益の実現を期待する株主との間で、建設的な対話を行う。

## 内部統制システムに関する 基本的な考え方

森永乳業グループは、企業活動の安全と効率とを求めて内部統制を推進し、コンプライアンス・リスク管理・財務報告・情報セキュリティの信頼性確保のために統制基準を定め、これに基づいて業務を執行しています。また、それぞれの担当部署が相互に協議しながら情報の共有をはかり、指示・要請の伝達などが効率的に行われるよう、グループ全体の内部統制の構築に取り組んでいます。また、監査役による監査の実効性を確保するため、監査を支える体制の整備にも努めています。

## コーポレート・ガバナンスの重要性

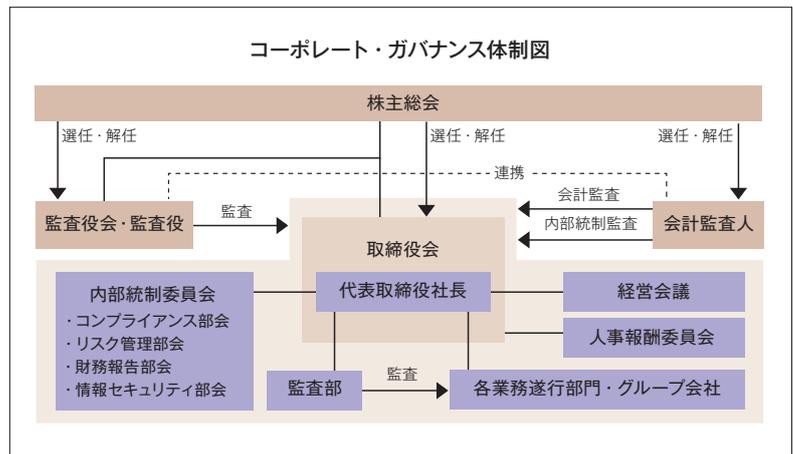
企業として、持続的な成長と企業価値の向上を実現するためには、株主やお客さま、サプライヤーなど様々なステークホルダーの立場を踏まえ、透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うことが重要だと、森永乳業は考えています。

その基本的な枠組みや考え方を、「森永乳業グループコーポレートガバナンス・ガイドライン」としてまとめました。すべてのステークホルダーのみならずとも共有し、取り組んでいきます。

## サプライヤーとの公正な取引

サプライヤーとの取引にあたっては「森永乳業グループ調達方針」に基づき、すべての取引先に公平、公正、透明な取引の機会を提供し、その取引を実践します。また、法令、社会規範を遵守し、人権や環境、労働安全衛生などに配慮した公正な取引に努めています。

原材料の品質、安全、技術力、価格、納期などの領域においては取引先と協働し、信頼関係を築きながらお客さまに喜んでいただける商品・サービスの提供をめざしています。



## ステークホルダーとの対話・ 積極的な情報開示

森永乳業グループは、株主、お客さま、取引先、地域社会、社員等のステークホルダーからの信頼を維持し、向上するために誠実なコミュニケーションに努めます。

法令ならびに東京証券取引所が定める規則に従って、正確で公平かつ明瞭な情報開示をWEBサイトなどで継続的に行なっていきます。

また、ステークホルダー・エンゲージメントを積極的に行い、ステークホルダーとの対話を通じてESGの観点での様々な課題や要請を抽出し、企業活動に反映していくことをめざします。